

AMANO

小型ヒュームコレクター

FD-10

取扱説明書

参照ページ

各部の名称

5

ご使用の前に

6

運転

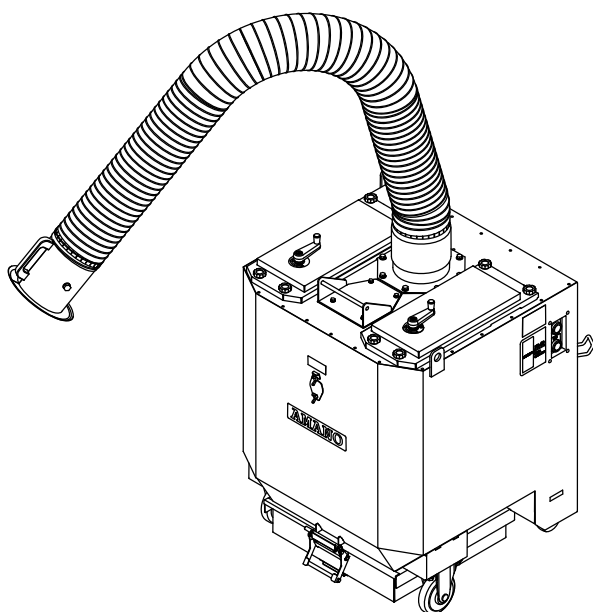
9

保守

11

異常が発生したときは

19



このたびはアmano 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも使えるように大切に保管してください。

重 要

- ◎『1. 安全にお使いいただくために』（P.3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
- ◎運転・保守に関する指示を守り、日常点検・定期点検を励行してください。
- ◎設置および点検について法令並びに条例による規定がある場合はその規定に従ってください。
- ◎本書は標準仕様の製品を対象とした取扱説明書です。お客様のご指示により特注仕様に変更した場合は、デザイン・操作方法が異なる場合があります。

制作年月：2015年3月

もくじ

はじめに	2
1. 安全にお使いいただくために	3
2. 各部の名称	5
外観	5
3. ご使用の前に	6
本体の設置	6
スイングアームの取付	6
電源の接続	7
モーターの回転方向の確認	8
4. 運転	9
運転前点検	9
運転の開始と停止	9
5. 火災時の消火	10
消火対応	10
6. 保守	11
フィルターの払い落とし	11
堆積物の排出	12
フィルターの交換	13
サーマルリレーのリセット	15
ヒューズの交換	17
前処理部内部の清掃	18
7. 異常が発生したときは	19
8. 定期点検	20
9. 仕様	21
本体	21
10. 外形寸法	22
11. 配線図	23
12. 消耗品	24
13. アフターサービスと保証	25
使用中、異常が生じたとき	25
保証について	25
部品の保有期間について	25
14. 廃棄	25

はじめに

本機は、溶接時に発生するヒュームを捕集対象とします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本機は金属溶接作業で発生する粉じん爆発の危険性のないヒュームおよび粘着性のないヒュームのみ捕集対象とします。
 - ・レーザー溶接等で発生する未酸化ヒュームは可燃性があります。
 - ・未酸化ヒュームを吸引する可能性がある場合は、「粉体供給装置（不燃性の粉体を供給して火災・爆発のリスクを低減する）」を使用する必要があります。
 - ・ワークに油分が付着している場合も、油分対策として「粉体供給装置」を使用する必要があります。
 - ・次ページ「△警告」に示す吸引禁止物質や爆発性のある可燃性粉塵には使用できません。
- 本書は標準仕様について説明しています。特注仕様は外観や性能などの内容が異なりますのでご了承ください。
- 製品改良のため、仕様・外形・記載事項が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は日本国内での取引並びに使用を前提とし、海外で使用する場合は保証等に関する責任は負いかねます。

免責事項

下記の使用による事故、故障等は責任を負いかねますのでご了承ください。

- ・本機内で発生した粉塵火災・粉塵爆発に起因する場合。
- ・本書に記載された内容と異なる不適切な使用条件、操作方法および用途に起因する場合。
- ・本書に記載された保守・消耗品交換を実施しなかったことに起因する場合。
- ・弊社および弊社が認める第三者以外による修理・改造・移設に起因する場合。
- ・火災・地震・水害などの天災や不可抗力に起因する場合。
- ・弊社が製造時に科学的および技術的に予見できなかったことに起因する場合。
- ・中古製品（アマノ株式会社が販売した後、転売等で再度流通した製品）を使用する場合。
- ・その他、弊社の責任に起因しない場合。

1. 安全にお使いいただくために

本書に記載した注意事項は次のように危険の程度や内容に応じて使い分けております。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ・重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が出るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ・傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
- ・物的損害とは建物・財産・装置・機器などにかかわる拡大損害を示します。

警告



爆発注意

次の物質は吸引しないこと。

- ・爆発性のある可燃性粉塵：アルミニウム、マグネシウム、チタン、エポキシ、トナー、小麦粉、未酸化の金属ヒュームなど。
 - ・引火性物質：ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など。
 - ・火種：グラインダーの火花、たばこの吸いがら、灰など。
- 引火、爆発のおそれがあります。



爆発注意

引火性、爆発性、腐食性物質の霧・煙（ヒューム）・ガスが滞留しているところや、爆発性のある可燃性粉塵が飛散しているところ、およびその付近で使用しないこと。

引火、爆発のおそれがあります。



爆発注意

法令等で定める危険場所に設置しないこと。

引火、爆発のおそれがあります。



濡れた手禁止

濡れた手で電源を接続、取りはずしをしないこと。

感電のおそれがあります。



禁止

傷ついた電源コードを使用しないこと。

火災、感電のおそれがあります。



分解禁止

この機器を改造しないこと。

事故、火災、感電のおそれがあります。



行動指示

内部で火災や粉塵爆発が発生した場合は、以下の行動をとること。

- ・ただちに電源を切ること。
 - ・集塵物に適した消火剤を使用すること。
 - ・鎮火し、内部温度が常温に下がるまで扉を開けないこと。
- 二次爆発のおそれがあります。



定格電圧外禁止

製品に表示した電源仕様以外の電源（電圧・周波数）で使用しないこと。またタコ足配線をしないこと。

火災、感電のおそれがあります。



アース接続

アースを接続すること。

漏電した場合、火災・感電のおそれがあり、また静電気等で機器の故障および誤作動の要因につながるおそれがあります。



吸引禁止

次の物質は吸引しないこと。

- ・アスベストなどの有害性粉塵。
 - ・腐食性物質：塩酸ガス・塩素・硫化ガス・フッ化水素など。
 - ・放射性物質や放射能で汚染された粉塵など。
- 健康を損なうおそれがあります。



行動指示

バケット内の粉塵は毎日排出し、溜めたままにしないこと。

機能低下及び、着火源が入った場合、火災のおそれがあります。



行動指示

集塵機の内外面・配管内に粉塵が堆積しないように定期的に清掃すること。

着火源が入った場合、火災のおそれがあります。

1. 安全にお使いいただくために（続き）

絵表示の説明 具体的な内容は記号の中に絵で示します。

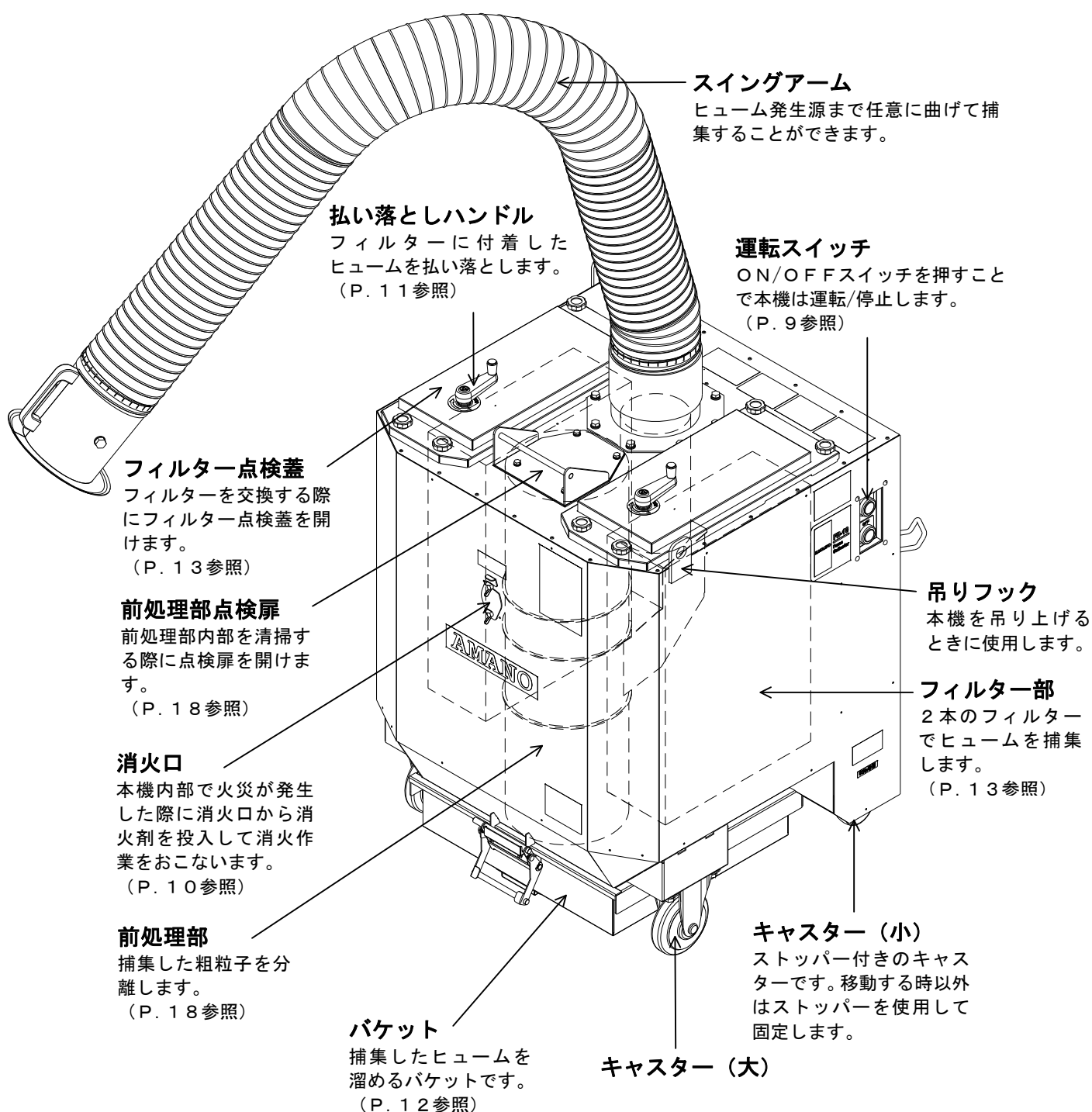
 警告や注意を示します。	 禁止の行為を示します。	 必ずおこなうべき事で、強制する行為を示します。
--	--	--

注意

 注意 点検やフィルターおよび部品の交換の際は、適切な保護具（手袋・ヘルメット・防塵マスク・防塵メガネ等）を着用すること。けがのおそれがあります。	 吸排気ふさぐな 吸込口および排気口をふさいだまま運転しないこと。 過熱により、故障の原因となります。
 禁止 全開、全閉を繰り返しての運転をしないこと。 故障の原因となります。	 吸引禁止 次の物質は吸引しないこと。 ・粘着性物質：水溶性ミスト、オイルミストなど ・磨耗性物質 ・その他：水、油などの液体。 性能低下や故障のおそれがあります。
 電源を切る 運転中に異音、発煙、異常振動、過熱、異臭が発生した場合は、ただちに本機への電源供給元を切ること。 故障、感電、火災のおそれがあります。	 指示 配線作業は、電気工事有資格者がおこなうこと。 事故のおそれがあります。
 電源を切る 点検、メンテナンスをするときは、必ず本機への電源供給元を切ること。 感電のおそれがあります。	 温度制限 使用環境温度は0℃～40℃にすること。 発熱、故障のおそれがあります。
 電源を切る 運転中にモーターが停止したときは、ただちに本機への電源供給元を切ること。 感電のおそれがあります。	 温度制限 吸引空気の温度は0℃～40℃にすること。 事故や故障のおそれがあります。
 指示 平たんな場所に設置すること。 守らない場合、転倒するおそれがあります。特に車輪付仕様は、自走による事故のおそれがあります。	 指示 モーターは、正しい回転方向で使用する こと。 逆回転での使用は故障のおそれがあります。

2. 各部の名称

外観



3. ご使用の前に

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

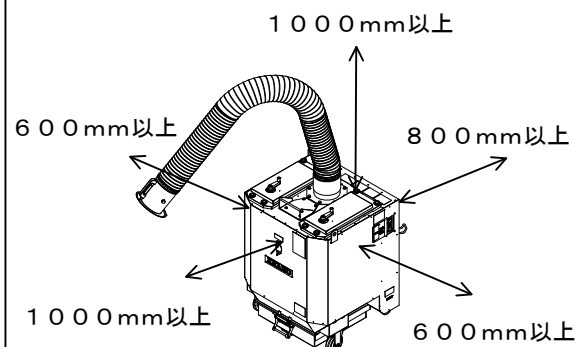
本体の設置

次の条件を守って設置してください。守らない場合は、性能を発揮できなくなったり、製品の故障や事故が発生するおそれがあります。

● 設置場所の条件

- 屋内
- 製品質量を十分考慮した水平な床面
- 直射日光、雨水があたらないこと
- 強い振動や衝撃を受けないところであること
- キャスターのストッパーを必ず固定すること
- 使用環境温度：0℃～40℃
- 十分なメンテナンススペースを確保すること
- 本機を吊り上げるときは、吊りフックを使用すること。また吊り上げ作業においては、クレーン・玉掛け技能などの有資格者が作業すること。
- 本機を別の場所へ移動させる場合は、必ず点検扉の取っ手を持って移動すること。

メンテナンススペース



禁止行為

スイングアームの取っ手を持って本機を移動する

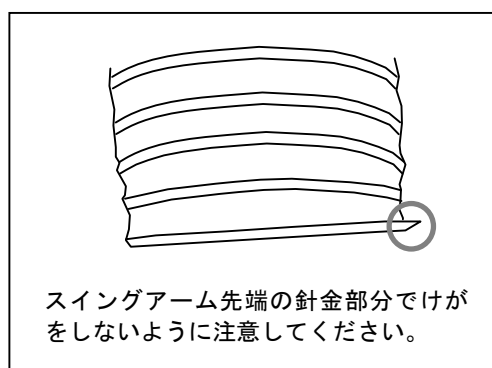
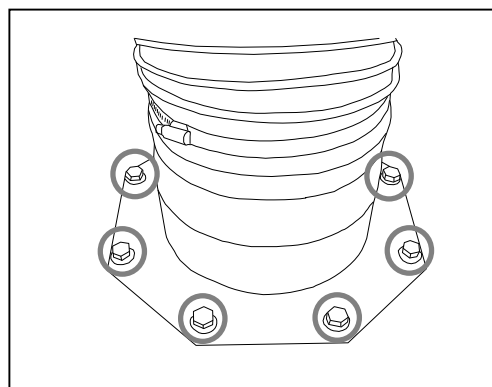
スイングアームの取付

● スイングアームの接続

スイングアームは本体上部に取付けます。ボルト（8箇所）を使用して、ゆるみがないように均等に締めて取付けてください。

注意

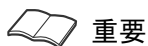
先端部分に針金が出ている場合があるので、スイングアーム先端の針金部分でけがをしないように注意してください。



3. ご使用の前に（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

電源の接続



重要

●電源接続は電気工事有資格者がおこなってください。

1 電源の仕様を確認する

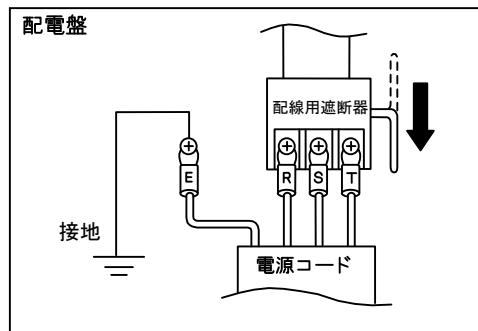
本機の電源の仕様と、接続しようとしている電源の仕様が、一致していることを確認してください。

2 電源を切る

感電を防止するため、必ず配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）を切ってください。

3 アース線を接地する

電源コードのアース線を接地してください。このとき接地抵抗値は100Ω以下の条件を満たしていることを確認してください。



4 アース線以外を結線する

アース線以外の電源コードを、配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）の端子台にしっかりとネジ止めします。

5 電源を入れる

上記の①～④を再度確認し、配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）を投入します。

ブレーカーの確認：

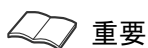
安全のため、一次電源側にブレーカーを設置してください。ブレーカーは下記の条件を満たしてください。

ブレーカーの種類	推奨定格電流
NFB（配線用遮断器） または ELB（漏電遮断器）	10A

3. ご使用の前に（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

モーターの回転方向の確認



重要

●電源接続は電気工事有資格者がおこなってください。

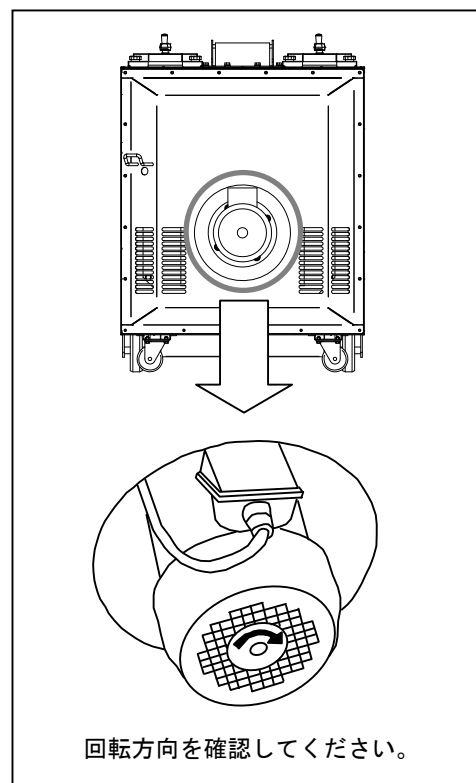
① 運転スイッチを押してからすぐに停止スイッチを押す

回転方向を示す矢印と同方向（時計回り）に回転しているか確認します。

回転方向が矢印と異なる場合は、②以降の作業をおこないます。

② 電源を切る

感電を防止するため、必ず配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）を切ってください。



③ 電源コードの配線（相順）を入れ替える

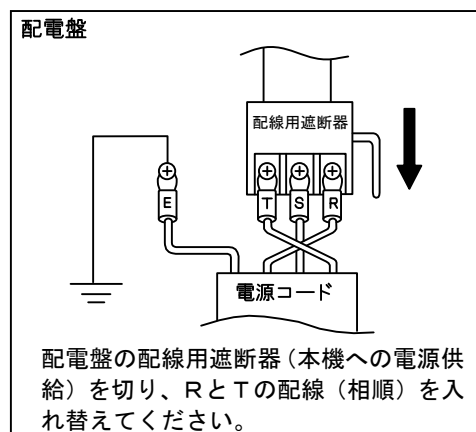
電源コードのRとTの配線（相順）を入れ替えます。

④ 電源を入れる

配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）を投入します。

⑤ 回転方向を再度確認する

回転方向を確認する為、①の作業を再度おこないます。



4. 運転

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

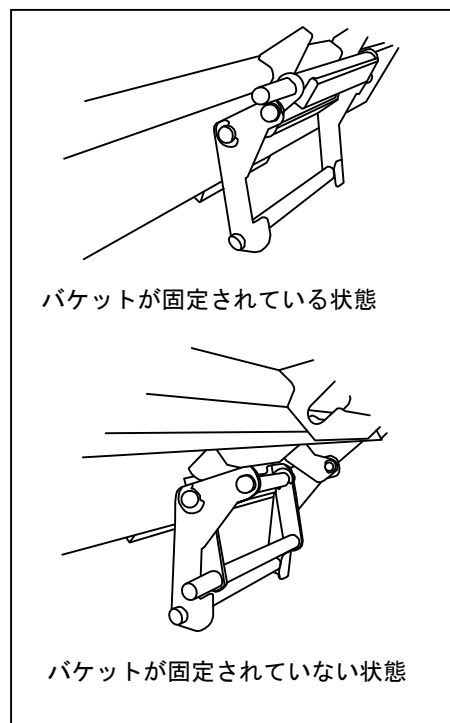
運転前点検

● フィルターの取付け確認

フィルター点検蓋を開いて、フィルターが正しく取付けられているか点検してください。
（『5. 保守 フィルターの交換』 P. 13 参照）

● バケット部の密閉確認

バケット部の密閉状態を点検してください。



● スイングアームの接続確認

スイングアームが正しく接続されているか点検してください。
接続が確認できたらフードの先端を捕集部へ寄せてください。
（『3. ご使用前に スイングアームの取付』 P. 6 参照）

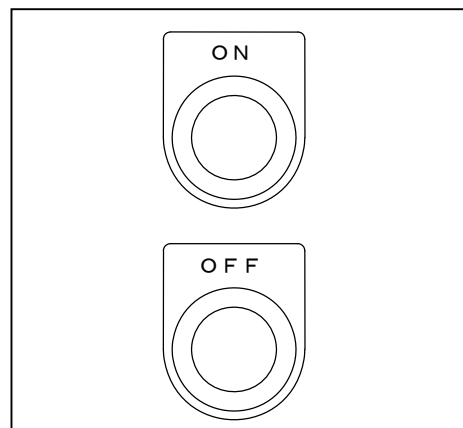
運転の開始と停止

① 運転を開始する

運転スイッチの **ON** を押します。
モーターが回転し、吸引を始めます。

② 運転を停止する

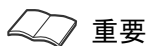
運転スイッチの **OFF** を押します。
モーターが停止します。



5. 火災時の消火

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

消火対応



重要

- 適切な保護具（手袋・防塵マスク・防塵メガネ・防塵服など）を使用してください。
- 火災発生後の装置は、強度が劣化しています。装置の復旧および再使用はできません。
- 捕集するヒュームに適した消火剤を手元にご用意ください。

1 電源を切る

配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）を切ります。

2 蝶ボルトをゆるめて消火口蓋板を回転させる

蝶ボルトをゆるめて消火口蓋板を回転させて消火口を開きます。この時、消火口蓋板（蝶ボルトを含む）は高温になっている可能性があるため、素手では絶対に触らず、適切な保護具を使用してください。



3 消火口から消火剤を投入する

二次的火災を防ぐ為に消火口から消火剤を投入します。

注意

フィルタ一点検蓋や前処理点検扉を開けて消火しないでください。守らない場合、周囲の可燃物への引火ややけどなどのけがを引き起こすおそれがあります。

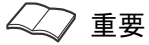
4 フィルタ一点検蓋・前処理点検扉を開けて鎮火を確認する

内部温度が常温まで下がってから、フィルタ一点検蓋・前処理点検扉を開けて鎮火できたか確認します。燃え残り等を発見した場合は、消火剤を投入してください。

6. 保守

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

フィルターの払い落とし



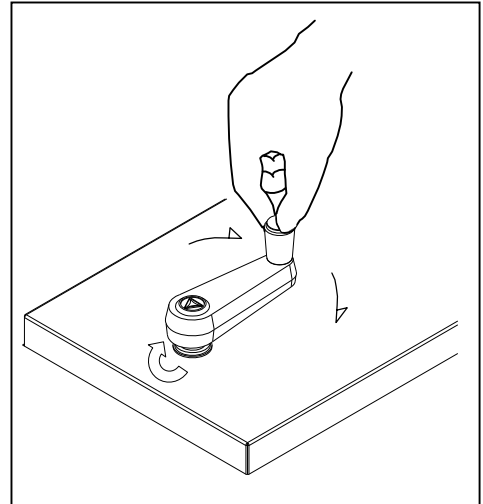
●適切な保護具（手袋・防塵マスク・防塵メガネ・防塵服など）を使用してください。

① 運転を停止する

運転スイッチの **OFF** を押し、モーターが停止するまで待ちます。

② 払い落としをする

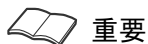
運転停止を確認した後、払い落としハンドルを10回転程度矢印の方向にまわしてください。



6. 保守（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

堆積物の排出



重要

●適切な保護具（手袋・防塵マスク・防塵メガネ・防塵服など）を使用してください。

① 運転を停止し、フィルターの払い落としをする

お願い

飛散防止のため、払い落としが完了した後、10秒ほど待ってから次の作業をおこなってください。

② バケットを取り出し、堆積物を廃棄する

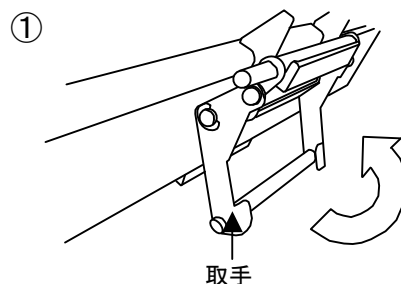
取手を上に引き、本機の溝から丸棒をはずします。ロックを解除したらバケットの取手を持って静かに引出し、バケット内部の堆積物を廃棄します。（右図参照）

お願い

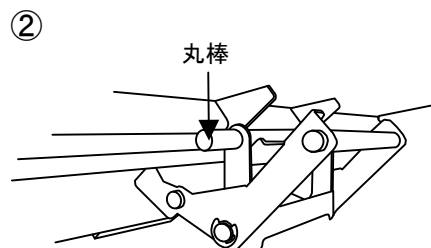
廃棄したバケット内部の堆積物は、貴社規定及び関連法規に従って適切に処理してください。
堆積物は必ず毎日廃棄してください。

③ バケットを本機に取り付ける

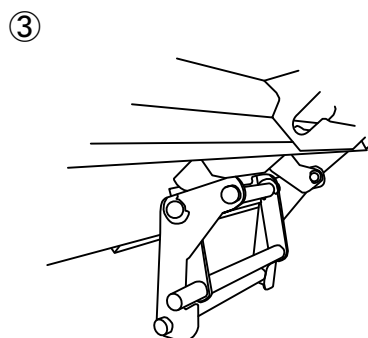
空になったバケットを、本機に戻して取付けます。
取付ける時は、バケットを奥まで入れて、本機の溝に丸棒を引っ掛けてから取手を下に引きます。



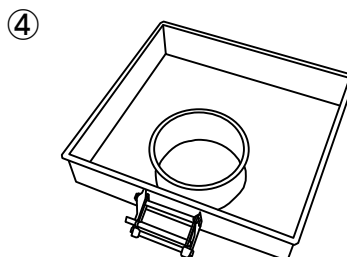
バケットの取手を上方向に引き上げます。



本機の溝から丸棒をはずします。



取手を持って本機からバケットを取り出します。

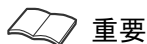


バケット内部に堆積したヒュームを廃棄します。

6. 保守（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

フィルターの交換



重要

- 適切な保護具（手袋・防塵マスク・防塵メガネ・防塵服など）を使用してください。
- フィルター取付板のエッジ部で手を傷つけたり、フィルター挿入時に指を挟んだりしないように注意してください。
- フィルターは水洗いやブラッシングができません。水洗いやブラッシングをするとフィルターろ布の変形や破れが発生し、フィルター性能の低下および目詰まりや取付け不良によるヒューム漏れの原因となります。
- フィルターの交換は目安として半年に1度交換してください。（お客さまの使用条件により、フィルター寿命が大きく変化します。フィルターの払い落としをしても付着したまま落ちない場合などは、フィルターを交換してください。）
- フィルターの交換は2本同時に実施してください。混用するとフィルターの目詰まりが進行し、フィルター寿命が短くなります。

1 運転を停止し、フィルターの払い落としをする

（『6. 保守 堆積物の排出』P. 12 参照）

2 バケットを取り出し、堆積物を廃棄する

（『6. 保守 堆積物の排出』P. 12 参照）

3 バケットを本機に取り付ける

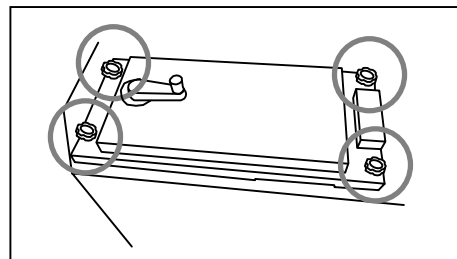
（『6. 保守 堆積物の排出』P. 12 参照）

4 電源を切る

安全のため、配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）を切ります。

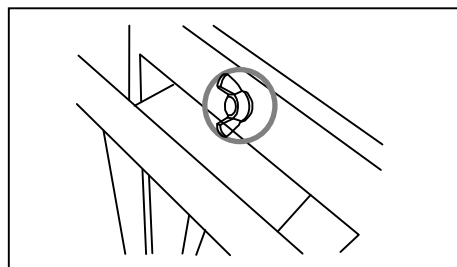
5 フィルター点検蓋を開ける

フィルター点検蓋を固定しているノブボルトをはずしてフィルター点検蓋を開けます。



6 フィルターを取りはずす

フィルターを固定している蝶ボルトをはずして、フィルター取付板と一緒に上方向に引き上げて本機から取出します。



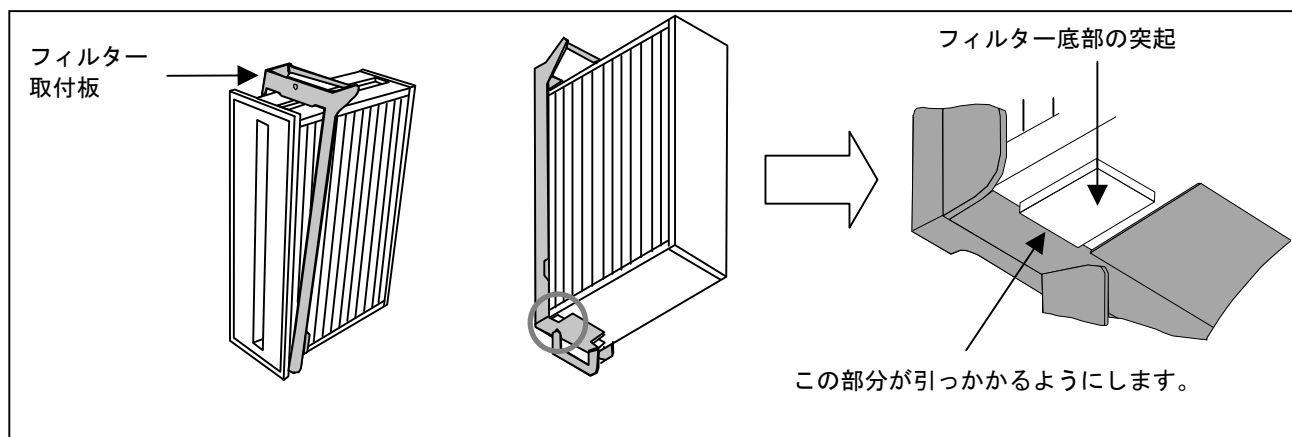
6. 保守（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

フィルターの交換（続き）

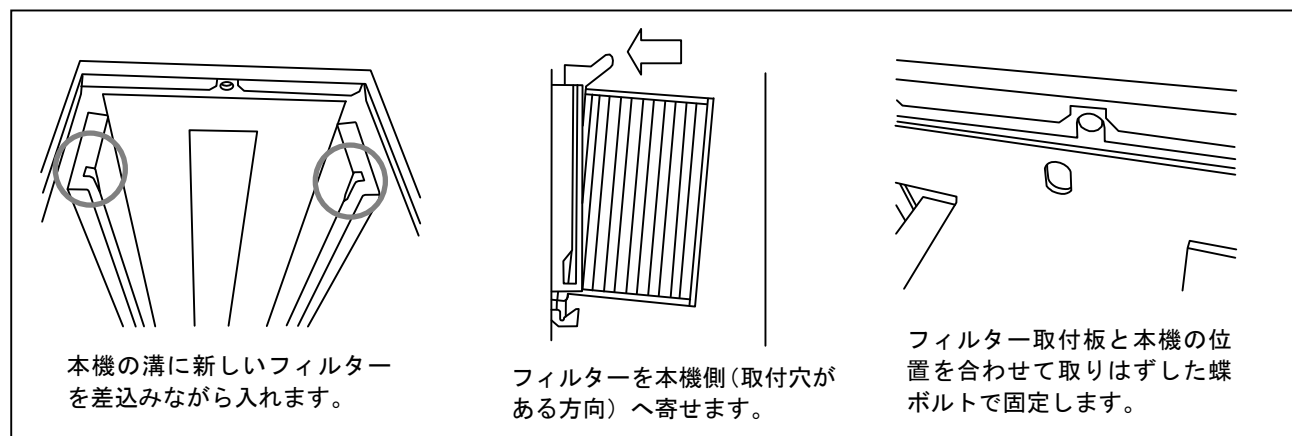
7 新しいフィルターにフィルター取付板を取付ける

フィルター取付板から使用済みフィルターを取りはずし、新しいフィルターに付け替えます。この時、フィルターがはずれないようにフィルター取付板をフィルター底部の突起に合わせて組み付けます。



8 新しいフィルターを本機に取付ける

本機の溝にフィルター取付板を差し込みながら入れます。
フィルターを本機に押し当てながら、取りはずした蝶ボルトでゆるみがないように締めて固定します。



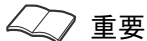
9 フィルター点検蓋を閉める

フィルター点検蓋を閉じて、ノブボルトをゆるみがないように締め付けます。

6. 保守（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

サーマルリレーのリセット



重要

●電源接続は電気工事有資格者がおこなってください。

モーターの過負荷により、サーマルリレーが働いてモーターが停止したときは、以下の手順でサーマルリレーをリセットしてください。

① 電源を切る

安全の為、配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）を切ります。

② 排気口側の本機背面の板をはずす

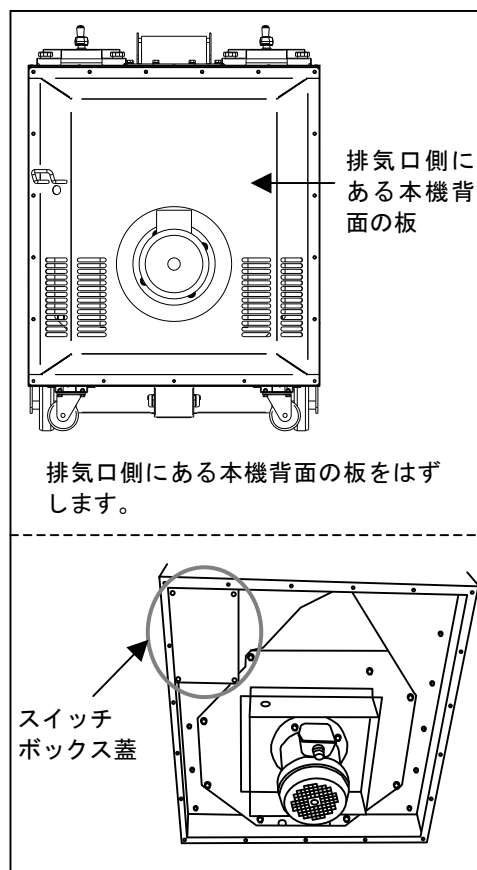
本機背面の板（排気口側）をはずします。

③ スイッチボックスの蓋をはずす

スイッチボックスの蓋をはずします。

④ 配線を確認する

配線に異常がないか確認します。



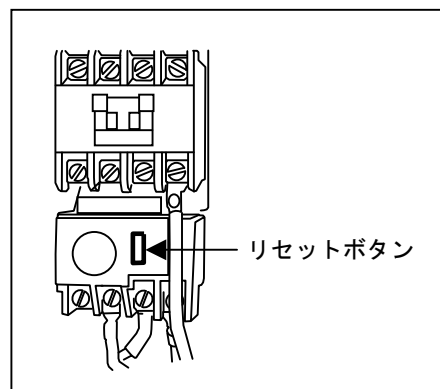
6. 保守（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

サーマルリレーのリセット（続き）

⑤ サーマルリレーのリセットボタンを押す

電磁開閉器に付いているサーマルリレーのリセットボタンを押してください。

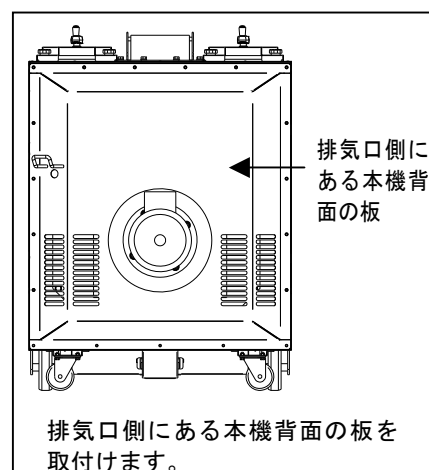


⑥ スイッチボックスの蓋を取付ける

取りはずしたスイッチボックスの蓋を取付けます。

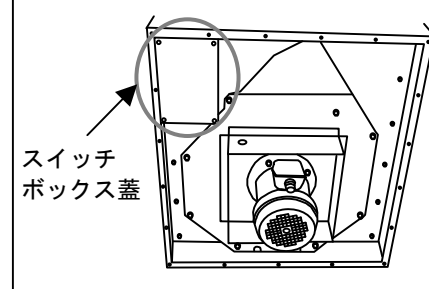
⑦ 排気口側の本機背面の板を取付ける

取りはずした本機後面の蓋板（排気口側）を取付けます。



⑧ 試運転をして異常がないか確認する

配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）を入れてから、運転スイッチ **ON** を押して試運転をしてください。異常音、過熱、その他の異常がないか確認します。



6. 保守（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

ヒューズの交換



重要

- 電源接続は電気工事に資格者がおこなってください。

ヒューズが切れて動かなくなった場合は、以下の手順でヒューズを交換してください。

① 電源を切る

安全の為、配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）を切ります。

② 排気口側の本機背面の板をはずす

本機背面の板（排気口側）をはずします。

③ スイッチボックスの蓋をはずす

スイッチボックスの蓋をはずします。

④ 新しいヒューズに交換する

新しいヒューズに交換します。

ヒューズ仕様

定格電圧：250V

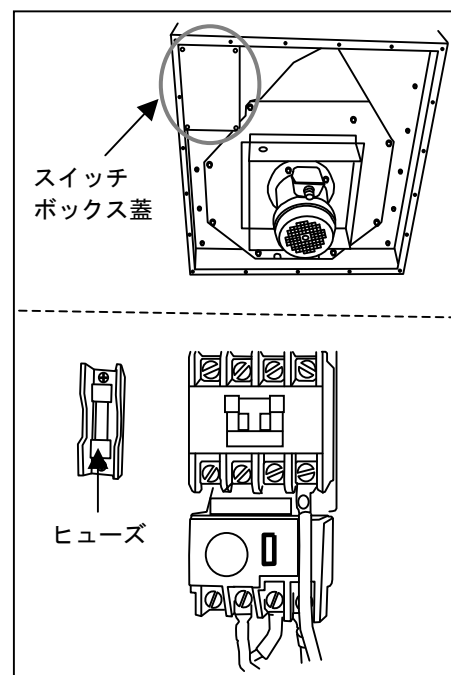
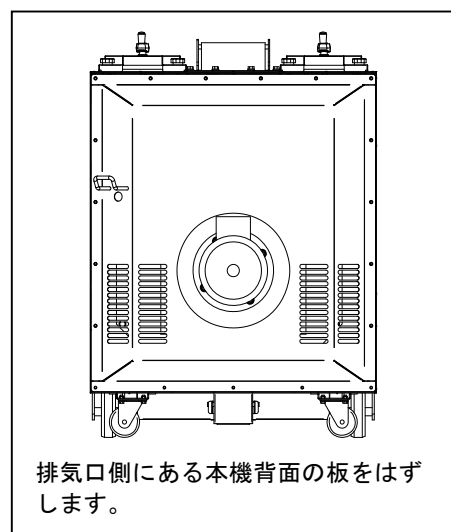
定格電流：1A

⑤ スイッチボックスの蓋を取付ける

取りはずしたスイッチボックスの蓋を取付けます。

⑥ 排気口側の本機背面の板を取付ける

取りはずした本機後面の蓋板（排気口側）を取付けます。



6. 保守（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～4 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

前処理部内部の清掃

重要

- 適切な保護具（手袋・防塵マスク・防塵メガネ・防塵服など）を使用してください。
- 衝突板のエッジ部で手を傷つけたり、点検扉で指を挟んだりしないように注意してください。

① 運転を停止する

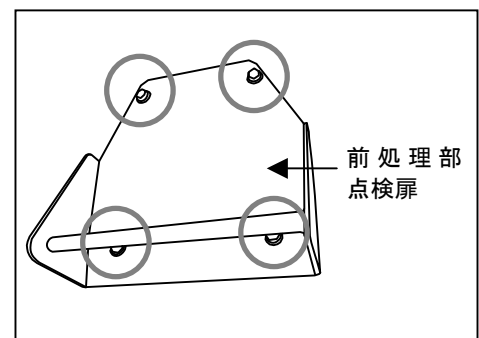
運転スイッチの **OFF** を押し、モーターが停止するまで待ちます。

② 電源を切る

安全の為、配電盤の配線用遮断器（本機への電源供給）を切ります。

③ 点検扉を取りはずす

点検扉を固定しているボルト（4箇所）をはずして点検扉を取りはずします。

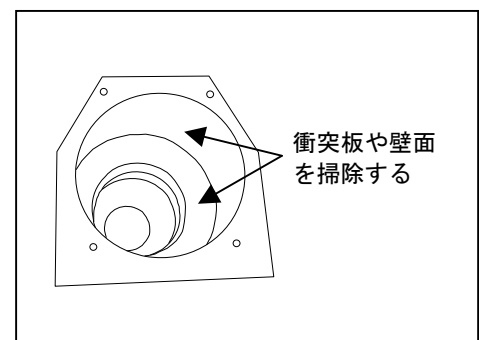


④ 汚れを落とす

固く絞った濡れ雑巾などを使用して内部を清掃します。特にリング状となっている衝突板や壁面などに付着しているものを落してください。

注意

- 衝突板を叩いたりして付着しているものを落さないでください。形状が変形すると気流が乱れて捕集性能低下のおそれがあります。
- 真空掃除機を使用すると掃除機内部で着火・爆発の危険性があるため、絶対に使用しないでください。



⑤ 点検扉を取付ける

取りはずしたボルト（4箇所）を使用してゆるみがないように締めて点検扉を固定します。

7. 異常が発生したときは

ご使用中に異常が生じたときは、安全のため、ただちに電源供給元を切って点検をしてください。
それでも異常が解消できない場合は、ご自分で修理なさらずに弊社支店・営業所までご連絡ください。

状態	現象	原因	対策	参照
ファン・モーターが『動かない』	運転スイッチを入れても作動しない	電源が供給されていない	電源供給元を点検する	—
		電源コードの断線	電源コードの断線部分を確認して補修または交換する	—
		電源が欠相になっている	電源を点検する	—
		停電している	復電するまで待つ	—
		スイッチの不良	スイッチを交換する	—
	運転中に突然停止した	過負荷でモーターのサーマルリレーが作動した	サーマルリレーのリセットボタンを押す。	P. 15
		電源に異常が発生した	電源電圧を安定させる	—
		ヒューズ切れ	ヒューズを交換する	P. 17
		停電している	復電をするまで待つ	—
	作動しない	電源電圧が不安定	電源電圧を安定させる	—
ファン・モーターが『動いている』	吸引力が弱い	ヒュームがフィルターに付着し目詰まっている	フィルターの払い落としをする	P. 12
		電源が逆相になっている	電源供給元を切り、電源コードの相順を入れ替える	P. 8
		フィルターの寿命 (半年以上フィルターを交換していない)	フィルターを交換する (半年に1度はフィルターを2本同時に交換する)	P. 13
		スイングアームの詰まり・損傷	スイングアームを点検して不良箇所を修理または交換する	—
		バケットやフィルター点検蓋がしっかりと閉まっていない	バケットやフィルター点検蓋を正しく閉める	—
	排気口からヒュームがもれる	フィルターの損傷	フィルターを交換する	P. 13
		フィルターの取付け不良	フィルターをしっかりと固定する	P. 13
	振動・異音・異臭がする	ファン、モーターの異常	ファン・モーターの取付け状態や故障を確認して故障なら交換する	—

8. 定期点検

点検箇所	点検の周期			方法・内容
	毎日	1週間毎	1ヶ月毎	
スイングアーム	○			①取付け状態を点検する。不良があるときは、正しく取付ける。 ②破損・変形の有無を点検する。破損・変形がある場合は、修理・交換をする。 ③スイングアーム内部の堆積物の有無を点検する。堆積がある場合は堆積物を除去する。
バケット	○			①バケット内部の堆積物は毎日排出する。
フィルター			○	①点検蓋を開けて取付け状態を点検する。取付け不良があるときは正しく取付ける。 ②点検蓋を開け破損の有無・汚れ具合を点検する。破損がある場合は交換する。 ③フィルターの目詰まり状態を確認する。フィルターに付着したヒュームの払い落としをしても改善されない場合は交換する。 ④半年に1度は2本同時にフィルターを交換する。(お客さまの使用条件により、フィルター寿命が大きく変化します。フィルターの払い落としをしても効果が出ない場合は、フィルターを交換してください。)
払い落としハンドル			○	①払い落としハンドルの状態を点検する。破損や変形がある場合は修理・交換する。
電源コード		○		①電源コードの劣化、破損、取付け状態を点検する。被覆が破れて芯線が出ているときはただちに使用を中止し、交換する。
排気のヒュームもれ	○			①排気からヒュームがもれていないか点検する。ヒュームもれがあればフィルターの取付け状態を点検し、必要に応じて交換する。
各部パッキン			○	①各部パッキンの取付状態を確認する。パッキンが切れているなどの劣化が確認できた場合は、交換する。
モーター	2～3年ごとに保守点検が必要です。弊社支店・営業所にご連絡ください。			

お願い

- 運転・保守に関する指示を守り、日常点検・定期点検を励行してください。
- 法令ならびに条例による規定がある場合は、その規定に従ってください。

9. 仕様

本体

項目		小型ヒュームコレクター
本体の大きさ [mm]		710×851×985
本体質量 [kg]		152
電源		3相200V 50/60Hz 220V 60Hz
モーター [kW]		0.75
最大風量 [m ³ /min]		9.0
最大静圧 [kPa]		2.5
フィルター	面積 [m ²]	2.0
	個数	2
騒音 [dB (A)] (機側1m、地上1.2m)		80±2以下
バケット容量[L]	前処理部	2.6
	フィルター部	1.8
使用環境温度 [°C]		0～40
吸引空気温度 [°C]		0～40
電源コード		5m
吸込口径 [mm]		φ160
スイングアームの全長		2.0m

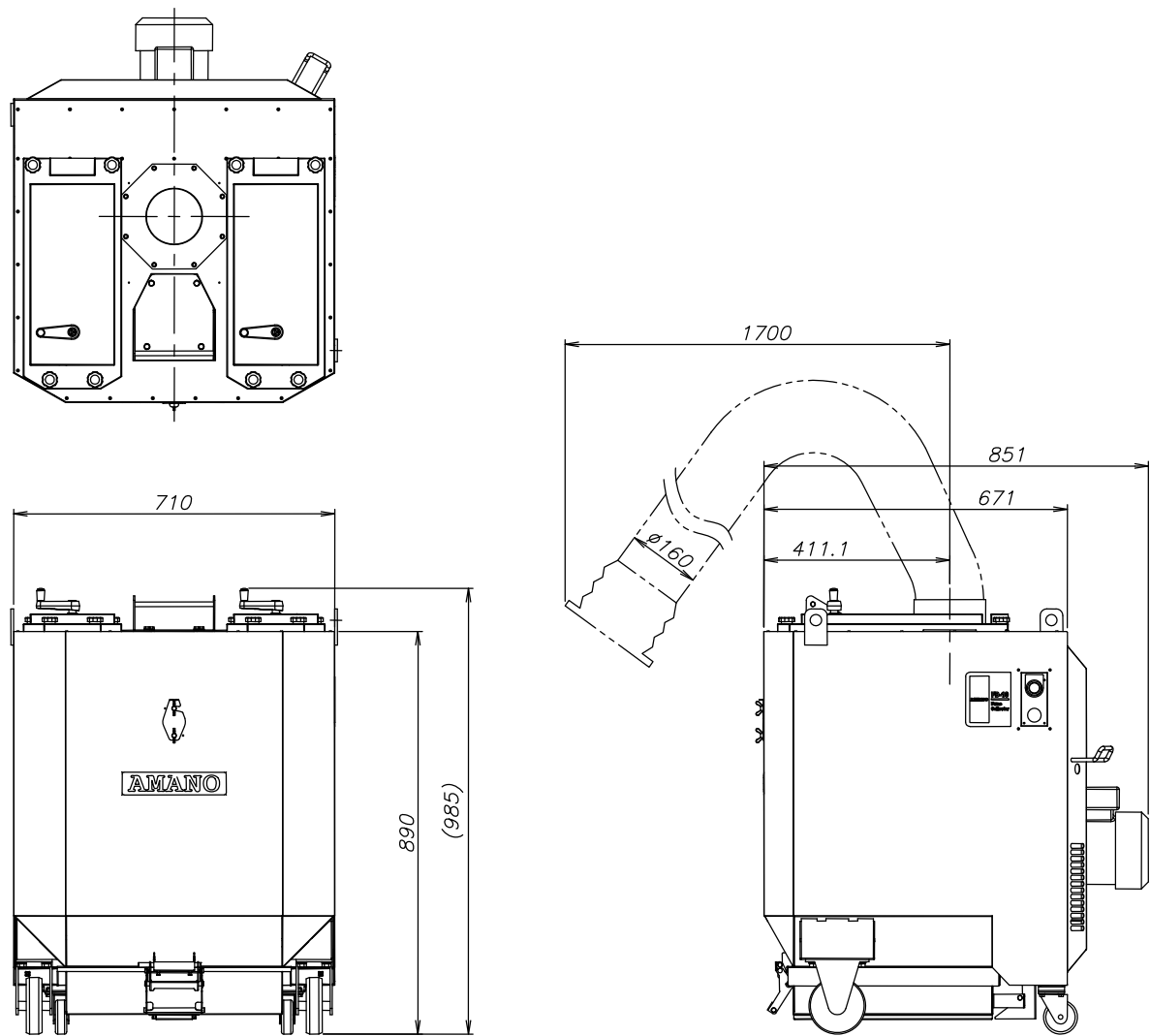
※上記の仕様表は、日本国内向け標準仕様のもので、特注仕様および日本国外向けの仕様は内容が異なる場合があります。

※騒音値は当社規定による実測値から決めた参考値です。

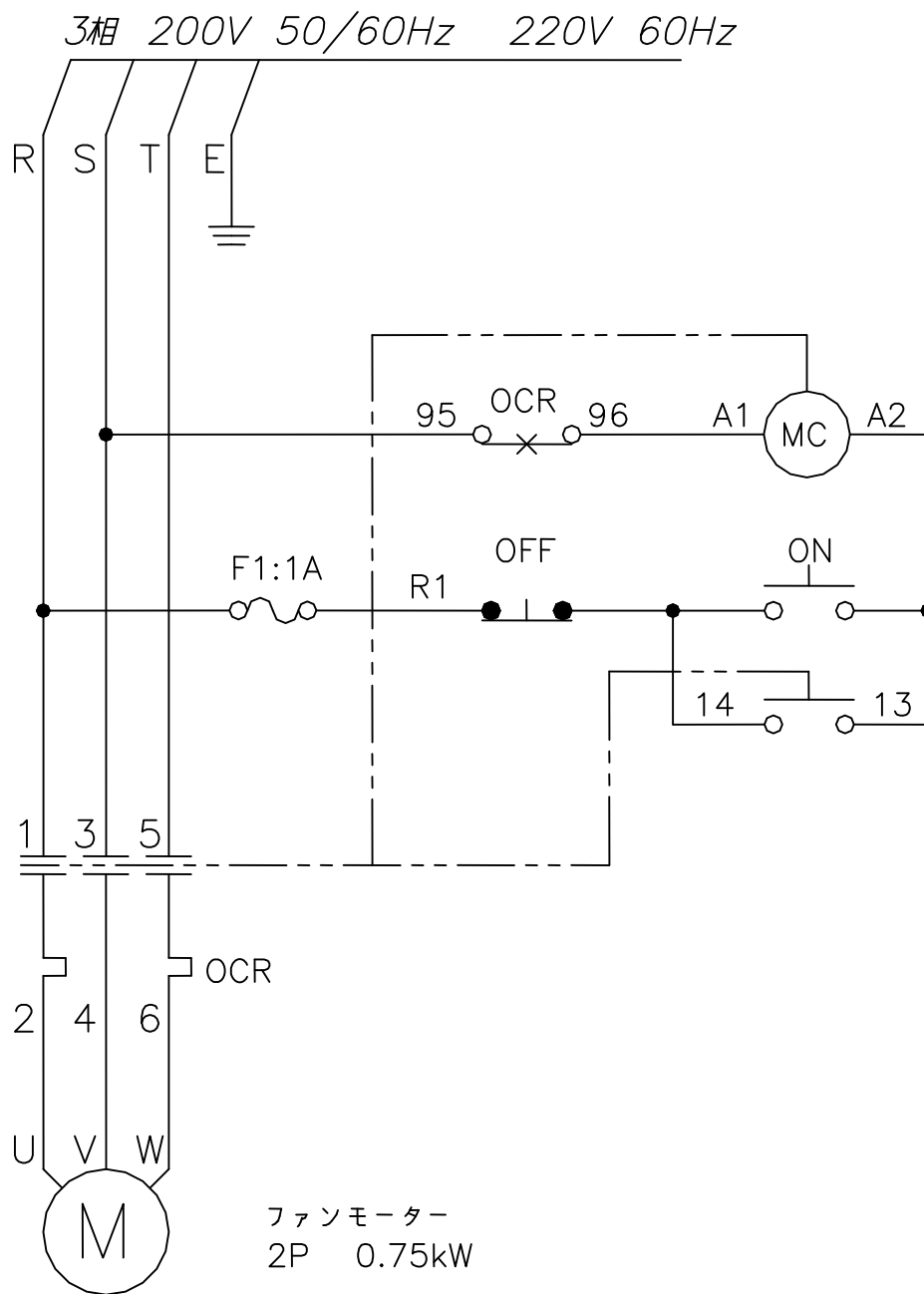
※モーターの定格電流値以内でご使用ください。

10. 外形寸法

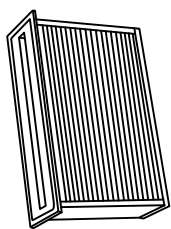
単位 : mm



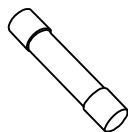
1 1. 配線図



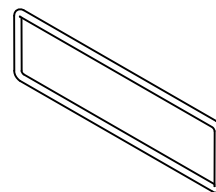
12. 消耗品



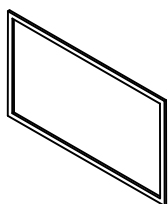
フィルター (フィルターパッキン付き)
部品番号 : GFD-300170



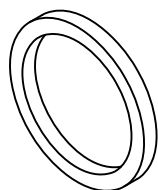
ヒューズ
部品番号 : EFS-212002



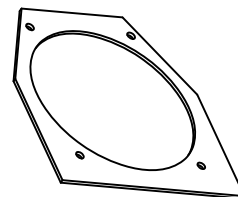
フィルターパッキン
部品番号 : GFD-303500



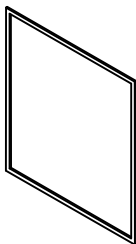
フィルター点検蓋パッキン
部品番号 : GFD-405200



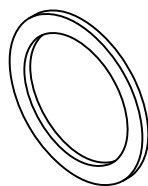
前処理バケットパッキン
部品番号 : GFD-138100



前処理蓋パッキン
部品番号 : GFD-138300



バケットパッキン
部品番号 : GFD-138000



消火口蓋パッキン
部品番号 : GFD-138400

お願い

- 性能を維持し、長く安全にご使用いただくために、交換部品はアマノ純正部品ご使用ください。

13. アフターサービスと保証

使用中、異常が生じたとき

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みのうえで点検していただき、回復しない場合は、お買い求めの販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。

保証について

- この製品は保証書付きです。
- 保証期間はご購入の日から1年間です。なお、保証期間中でも有料修理になることもありますので保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の希望により有料修理いたします。
- 不明な点はお買い求めの販売店または弊社支店・営業所にお問い合わせください。
- 本製品は、日本国内での取引並びに使用を前提とし、海外で使用する場合は保証等に関する責任は負いかねます。
- フィルター等の消耗部品は、製品保証対象外です。

部品の保有期間について

集塵機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後、6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。)

お願い

性能を維持し、長く安全にご使用いただくために、交換部品はアマノ純正部品をご使用ください。

14. 廃棄

本機を廃棄するときは、関連する法令および条例に従って適切に処分してください。

保証書

機種	F D - 1 0	機械番号	
保証期間	年	月	日より 1 年間
貴社名			
所在地	〒		
T E L	(	)	—
ご担当部課	ご担当者		様
販売店名			
T E L	販売担当者名		

本証書の記載機械は厳密な品質管理および検査に合格し出荷されたものであることを証明し、下記条件に従い保証いたします。

1. 保障期間中（お買上げ日より 1 年間）に、正常な使用状態において、万一故障した場合には当社にて無料で修理させていただきます。
修理は、お買上げの販売店又は弊社各支店・営業所にご依頼ください。
※本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

2. つぎのような場合には保証期間中でも有料修理となります。
 - （イ）使用上の誤りあるいは取扱上の不注意による故障・破損又は改造による故障及び損傷。
 - （ロ）火災・地震その他天災地変による故障および損傷。
 - （ハ）一度取付けた後の移動・輸送・落下等により生じた故障および損傷。
 - （ニ）本保証書の記入項目欄に記入のないときおよび取扱店の記入のない場合あるいは字句を勝手に訂正された場合は無効となります。

3. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan

アマノ株式会社

本社 〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275
T E L (0 4 5) 4 0 1 - 1 4 4 1 (代表)



本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275 番地

<http://www.amano.co.jp/>

■集塵機／ミストコレクター／環境商品関連のお問合せ

TEL 053-523-2109

FAX 053-527-2109

【受付時間】月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00（祝祭日・弊社休日を除く）

アマノ環境サポートセンター

00 0120-439-161

【E-mail】ATMS-Eco@amano.co.jp

【受付時間】月～金曜日 9:00～17:00（祝祭日・弊社休日を除く）
